



聶慧荃

パートナー、総経理補佐、品質検査部部長、シニア弁理士

使用言語：中国語、英語

実務経験：

特許無効審判、特許行政と民事訴訟、特許出願、特許分析と早期警告、企業の特許戦略策定とポートフォリオ、特許デューデリジェンスとFTO調査などの業務を得意とし、機械、電力、電子、オートメーション、半導体、画像処理、表示と照明などの技術分野で豊富な国内外の特許法律サービス経験を持っている。数多くの世界的に有名な企業の各種の特許案件を1000件余り代理しており、CIMC、LG Electronics、Delta Electronics、ZTE、Midea、DJIなどの有名な企業を代表して、重要な特許無効や訴訟案件の勝利を収め、優れた業務水準と厳格な作業態度でお客様の承認を得た。2019年、重慶恵科金渝光電公司与群創光電株式会社の「液晶表示パネル」特許侵害訴訟シリーズ案件において、重慶恵科会社の代理人として、無効と侵害戦略の協力を通じて、顧客の勝訴を獲得することに成功し、2018年、江南環境保護株式会社とアジア太平洋環境保護株式会社の特許無効、特許侵害訴訟シリーズ案件において、特許権者の江南環境保護会社の代理人として、その重要特許が無効になった後、チームへの参加を委託され、第一審法院に訴えられた無効決定を取り消させ、当該シリーズ案件を決定的に勝利させることに成功した。聶慧荃先生は2006年7月に隆天に入所した。

聶慧荃先生は、2004年に中国弁理士資格を、2013年に訴訟代理人資格を取得した。

職歴：

隆天知識財産代理有限公司，パートナー、総経理補佐、品質検査部部長、シニア弁理士

教育・研修歴：

法学修士，中国政法大学，経済法専攻（知的財産権分野）

工学学士，山東科技大学，機械設計と製造専攻

研究及び講演：

授業 「高額な特許訴訟を切り口に、企業がどのように高品質な特許を構築し、避けるべき一般的な誤解を解析する」、北京、IPRdaily 生放送、2020年8月

「江鈴の意匠特許無効案件から、実践における意匠の「明らかな違い」の判断を分析する」、IPRDAILY のヘッドラインとして公開、2019年5月

「New Development in Chinese Practice on Calculation of Patent Damage Awards」、『中国知識産権』雑誌英語版、2018年12月

講義 「審査意見通知書への応答及び出願書類の修正に関するスキルトレーニング」、北京、中華全国弁理士協会が主催した2018年第14期登録トレーニングクラス、2018年11月

「無効理由の組合せによる運用」、『知的財産弁護士論叢（第3シリーズ）』、2018年10月

「技術的効果の法律的作用及び作成策略」、『知的財産サービスの品質を大幅に向上させ、イノベーション主導の開発戦略の徹底的な実施』、2018年6月

「技術的効果の法律的作用及び作成策略」、中華全国弁理士協会が主催した第7回知的財産フォーラム論文募集活動で優秀論文に選ばれた、2017年

「実際の案件による特許侵害賠償額の算出に関する新しい動態」、『専利代理』雑誌、2017年5月

講演 「企業の特許品質の向上方法」、2016年11月、北京、第11回中米企業知的財産セミナー

「意匠権侵害判定における「実質的同じ」の認定についての司法実践」、『知的財産弁護士論叢（第2シリーズ）』、2016年9月

「特許代理の品質管理における心理的契約コンセプトの運用」、『知的財産弁護士論叢（第2シリーズ）』、2016年9月

「証拠に公開された方案の作業メカニズムを巧妙に解釈し、創造的答弁の突破口を追求する」、『専利代理』雑誌、2016年5月

「比較文書に公開された技術的事実の客観的な認定」、『専利法第22条と第23条の適用：2015年特許代理学術セミナーにおける優秀な論文集』、2016年1月

「比較文書に開示された技術的事実の客観的な認定」、中華全国弁理士協会から主催した専利法22/23条の正確な理解と適用の論文募集選考活動で優秀論文に選ばれた、2015年

「一般的な技術手段の進歩性審査実践における認定について」、『特許法第22条—進歩性理論と実践』、2012年1月

栄誉・社会活動：

中国知的財産新聞社によって3つ星弁理士に選ばれた

2017～2018年北京市優秀弁理士「傑出弁理士」

最高人民法院知的財産案例指導研究（北京）基地専門家諮問委員会の専門家

中華全国弁理士協会のトレーニング講師

首都知的財産サービス業界教師データベーストレーニング専門家

全国弁理士資格試験実務科目の採点先生

使用言語：

中国語、英語